夢を持つ子ども増やしたい

元戦士竜 沢井さん第2の野球人生

指導員スタート

キッズスクールで子どもたちを指導する沢井㊨＝名古屋市守山区で（安藤友美撮影）

コンフィデンシャル

チーム力より礼儀や協調性を重んじる

先輩は大半20代

間もなくプロ野球のシーズンが開幕するが、元竜戦士が第2の野球人生を〝開幕〟させている。昨季限りで中日ドラゴンズを退団した沢井道久さん(31)。自ら練習場を確保し、4歳から12歳の子どもたちに野球を指導する。栄光も挫折も知る男だからこそ教えられることもある。プロ時代とは違った信念に基づく指導で新たな夢を追っている。（安藤友美）

元気なあいさつとごみ拾いを促し、キャッチボールが始まれば子ども目線で指導する。〝野球〟と向き合う沢井さんの目は真剣そのものだが、昨年までと違って優しく温かい。「ぼく、楽しそうですか？　プロの時からオフの野球教室は好きでしたけど、これまでは技術を教えればいいと思っていた。考え方がまったく変わりましたね」と笑う。

沢井さんは、中日退団後に2度のトライアウトに挑戦したが、昨年末に現役引退を決意。今年1月に福岡市に本社を置き、地域貢献を目的としたスポーツ指導を行う「リーフラス」に就職した。同社が運営する「ベースボールスクール・ポルテ」に所属する指導員でプロ野球の経験者は沢井さんが初めて。先輩指導員の大半が年下の20代だが、特別扱いされることなく1月半ばからは福岡市内で1カ月間の研修に励んだ。

研修中は、救命講習で応急処置の資格を取得するとともに、幼稚園や小学校でのちらし配布やスクール指導など実際の活動を経験した。指導中は自分がプロ選手だったことを伏せ、研修の最終日に初めて伝えたという。「あの時は、子どもたちの目の輝きが違いました。やっぱりプロって夢を与えるものだと思った。もっと底辺を拡大したい」。野球に対する情熱をより燃やすようになった。

自ら練習場探し

愛知支部に配属された沢井さんは、2月下旬に本格的な活動を開始した。自分のスクールを開校するためグラウンド確保するのも指導員の仕事だ。「最近はキャッチボールを禁止する公園などが多くて、野球のできる場所が本当に少ないんです」とプロ時代には気づかなかった現実を知る日々。連日、練習場所の貸し出しを求めて県内を奔走している。これまでは先輩指導員のサポート役に徹してきたが、ついに名古屋市北区のグラウンド2カ所を〝沢井キッズスクール〟の舞台として確保。今月23日から各所でデモ教室を開くことも決まり、参加者を募っている。

スクールの理念は「ココロとカラダに体力を」。野球の技術指導だけでなく、地域の子どもたちの心身教育に重点を置いている。対外試合は行わないため、指導員に求められるのはチーム力の向上ではなく、参加する子ども全員が楽しく、礼儀や協調性を重んじながらレベルに見合った向上を図ること。

このため、怖がらず野球を長く続けられるよう初心者は柔らかいウレタン製のボールから始め、基本ができてから軟式球を使用する。スクールが平日の1時間に限定されるのは、自主性を促すためで、幼いうちは家族との時間を大事にしてほしいとの思いからだ。

幼少時代からプロまで、野球の酸いも甘いもかみ分けているだけに、理念に共感した沢井さんは先輩指導員たちに対しても、その重要性をあらためて訴えているという。

「子どもの時からずっとレギュラーでやってきたけど、プロに入ってケガをして、控えに甘んじた。それまではわからなかった気持ちをプロの世界で知れたことは、これから子どもたちと接していく上で役立つと思っています」と沢井さん。野球を楽しむことで夢を持つ子どもを増やしたい。俊足で鳴らした現役時代と同じように、新たな夢に向かって軽快に走り始めた。

◆ベースボールスクール・ポルテ　リーフラスが各都道府県で開催する野球教室。男女やレベルを問わず、4～12歳が対象。各支部所属の指導員が担当する練習場で、それぞれ平日1時間のスクールを開く。現在は開設準備中の県を含め、東京、大阪、愛知など13都道府県に支部を設けている。詳細、問い合わせは㊫0120(890)350、またはhttp://porte.jjfc.com/

▼沢井道久（さわい・みちひさ）1979（昭和54）年6月25日、京都市生まれの31歳。右投げ両打ち。愛知・豊川高から東海理化を経て、05年のドラフト11巡目で中日入団。俊足内野手として05年は新人ながら46試合に出場。08年5月25日のソフトバンク戦（ナゴヤドーム）では、代走ながら決勝のホームを奪った好走塁でお立ち台に上がるヒーローに。中日を戦力外となった10年シーズン限りで現役引退した。

2008年のソフトバンク戦で好走塁を見せ、ヒーローインタビューを受ける沢井＝ナゴヤドームで

confidential

オリックス	打	安	点
(中) 宮崎	3	1	0
(二) 梶本勇	3	0	0
(一) 辻	4	1	0
(右) 下山	4	1	0
(左) 荒金	2	0	0
打 坪井	1	0	0
左 丹羽	0	0	0
(捕) 前田大	3	1	0
(三) 高島	2	0	0
(遊) 三ツ俣	4	1	2
(投) 小松	3	0	0
投 比嘉	0	0	0
振球犠併残			
7 5 1 0 5 29 5 2			

広島	打	安	点
(遊) 安部	3	0	0
(左) 鈴木	3	0	0
(右) 井生	3	0	0
(一) 松山	4	2	0
(中) 末永	4	1	0
(三) 堂林	4	1	0
(捕) 磯村	4	2	2
(二) 庄司	3	0	0
打 会沢	1	1	1
(投) ソリアーノ	1	1	0
打 上村	1	0	0
投 林	0	0	0
投 シュルツ	0	0	0
打 申成鉉	1	1	1
振球犠併残			
1 2 2 2 8 32 9 4			

㊫三ツ俣、辻、磯村㊫前田大、安部㊫梶本勇、前田大、井生、堂林▽2時間42分

投	手回	打	安	責
小松	8⅔	34	7	4
比嘉	⅔	2	2	0
ソリアーノ	7	26	3	1
林	1	5	2	0
シュルツ	1	4	0	0

西武	打	安	点
(右) 大崎	3	1	0
(中) 熊代	3	0	0
中 石川	1	1	0
(一) 後藤	3	1	0
(左) 坂田	4	1	1
(指) 米野	4	0	0
(遊) 黒瀬	3	0	1
(三) 梅田	4	0	0
(捕) 荒川	3	0	0
打 中田	1	1	1
(二) 美沢	4	1	0
振球犠併残			
6 2 1 0 6 33 6 3			

ロッテ	打	安	点
(左) 宮本	4	1	0
(二) 角	4	1	2
(捕) 高浜	3	1	0
(遊) 細谷	4	1	1
(右) 神戸	3	1	0
走 右吉田	0	0	0
(捕) 田中	4	2	4
(中) 角中	4	0	0
(一) 渡辺正	3	1	0
(三) 翔太	4	1	0
振球犠併残			
3 3 0 2 5 33 9 7			

㊫角㊫宮本、細谷㊫大崎、角、細谷、翔太㊫山室▽2時間41分

投	手回	打	安	責
岡本洋	4⅓	20	5	3
宮田	2⅔	9	1	0
坂元	1	7	3	4
山室	6	21	3	0
上野	1	4	0	0
山本徹	1	3	0	0
松本	1	8	3	0

楽天	打	安	点
(中) 荒波	5	2	0
(遊) 山崎	5	0	0
(右) 二北	4	1	0
(二) 筒香	4	2	2
(左) 右井手	4	2	2
(一) 高森	4	1	0
(指) 桑原	3	0	1
(捕) 黒羽根	4	2	1
(二) 大原淳	3	0	0
打 喜田	1	0	0
左 早川	0	0	0
振球犠併残			
9 0 1 1 7 37 10 3			

日本ハム	打	安	点
(中) 関口	4	1	0
(遊) 杉谷	4	3	0
(三) 岩舘	3	0	0
(捕) 高橋	2	1	0
打 指西川	0	0	1
打 指尾崎	1	1	1
(二) 今浪	3	1	1
(捕) 渡部	4	0	0
(一) 右市川	4	0	0
(左) 大谷平	3	1	0
振球犠併残			
6 2 3 0 7 31 9 2			

㊫筒香2、黒羽根、高橋、大平、谷口、